

めいわ 議会だより



2013
No.58
平成25年
2月10日発行

群馬県邑楽郡明和町議会
<http://www.town.meiwa.gunma.jp>

ホームページに議会会議録を掲載しています。



はたちのよろこび♪

定例会	②
平成24年度 特別会計 補正予算	
一般質問	④
やさしい町づくりのために町政を問う	
調査報告	⑨
常任委員会所管事務調査	

研修報告	⑩
町村議会議員研修会	
市町村アカデミー開設25周年記念特別セミナー	
議会全体研修	

定例会

12月定例会
12/6~11

平成24年第4回明和町議会定例会は、12月6日に招集され、11日までの6日間の会期で開かれました。

この定例会には、町長から条例制定及び補正予算など議案12件が提出され、慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

また、最終日には議員から条例改正、規則改正の議案が提出され、全会一致で可決し、一般質問には、9人の議員から11問の質問があり、活発な議論を展開して町当局の所信をいただきました。

委員会条例・会議規則の一部改正

◆明和町議会委員会条例

地方自治法の一部改正により、委員会に関して、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会が一つの条文に統合され、委員の選任等に関する事項が条例に委任されたことに伴い、明和町議会委員会条例（委員の選任）の一部改正をしました。

◆明和町議会会議規則

地方自治法の一部改正により、委員会の中で行えなかった公聴会の開催や参考人の招致が、本会議においても委員会同様に行えることになったことに伴い、明和町議会会議規則に『公聴会』と『参考人』を加える一部改正をしました。



条例制定

暴力団排除条例

質問 条例第10条「青少年に対する教育のための措置」の具体的な内容は。

総務課長 青少年に対する暴力団への勧誘及び被害の阻止について、社会の中で講ずべき措置を規定したものです。一部では、暴力団を美化する風潮がありますが、実態等を認りませ、暴力団犯罪等に巻き込まれるのを防止することを目的とするものです。

質問 対象となるのは青少年だけか。

総務課長 青少年全体的と考え、青少年自体、青少年の保護者、青少年健全育成団体やPTA等の助言指導できる立場にある者も含まれます。

平成24年度

補正予算

特別会計

国民健康保険

質問 保険給付費において、一般被保険者高額療養費が900万円追加となるが、受診者が増えたことによる

ものか、医療の高度化により単価が上昇したことによるものか。

健康づくり課長 受診者はそれほど大きく増えていませんので、過去7カ月間の医療費の

動向から、医療費の高度化によるものと考えます。



第4回定例会 12/6~11

提出議案と審議結果

種別	件名	審議結果	
		全員賛成	原案可決
予算	専決処分の承認を求めること（平成24年度明和町一般会計補正予算（第3号））		
条例	明和町暴力団排除条例の制定	//	//
//	明和町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	//	//
//	明和町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定	//	//
//	明和町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定	//	//
//	明和町保健センターの設置及び管理に関する条例及び明和町社会福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部改正	//	//
//	明和町国民健康保険税条例の一部改正	//	//
//	明和町都市公園条例の一部改正	//	//
その他	指定管理者の指定（明和町老人福祉センター）	//	//
予算	平成24年度明和町一般会計補正予算（第4号）	//	//
//	平成24年度明和町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	//	//
//	平成24年度明和町介護保険特別会計補正予算（第3号）	//	//
条例	明和町議会委員会条例の一部改正	//	//
その他	明和町議会会議規則の一部改正	//	//

一般質問

やさしい町づくりのために

町政を問う



今成 隆議員

町長の選挙公約達成状況と

次期町長選への出馬の意向について

駅周辺整備事業での色づけを許されるならば、再び私が絵筆をとって金賞をとりたい／町長

質問 町長就任以来、財政をやりくりし予算編成してきているが、地方交付税や補助金も横ばい、削減傾向にあり、今後も厳しい財政運営が求められる。①二期目就任以来4年を迎えての公約の達成状況は。②開かれた町政、町民主役の行政推進

手段は。③機構改革に取り組んだ評価は。④公約の具体的な取り組み事例と評価は。⑤財政状況の推移は。⑥広域行政と町内における将来的な課題や今後の取り組みは。⑦次期町長選への出馬は。

町長 ①公約はおおむね

達成できました。②町政地区別懇談会等、積極的に展開してきました。③元職員が関与した不祥事事件では、町民の皆様、議員各位に大変なご心配とご迷惑をかけました。入札制度を工夫し、再発防止と一刻も早い信頼回復に努めています

ます。④町営住宅2棟の建て替え、第三工業団地造成と企業誘致、元気な華の里づくり支援事業では平成21年度より30団体に支援しました。⑤平成23年度の経常収支比率は、83.2%で、平成20年度と比べて12.1ポイント改善されています。⑥(株)日本キャンパック東南T字路と122号バイパスを結ぶ道路整備や広域農道の県道昇格を要望していきます。そのほか、最終処分場、広域

水道の問題や消防組合の耐震化事業等、対処していきます。⑦町を一つのキャンパスに例え、事業を色に例えて塗ってきました。川俣駅周辺整備事業についての色付けを許されるものならば、再び私が絵筆をとって金賞をとりたいと考えています。

は73億5000万円です。現在、平成23年度が102億6000万円にもなっている。駅前開発をして問題ないのか。

質問 学校給食費の半分補助はどうするのか。また町長選時の借金

町長 給食費を補助すると、ありがたみがなくなり残飯が多くなってしまうので、断念しました。また、財政面では凸版印刷(株)が来ますので、余裕ができます。

平成16年の借金

こんな質問もありました
・高年齢者雇用の課題について

グリーンバンクの利用方針と

進捗状況について

これから計画策定／都市計画課長

質問 明和第三工業団地の北側に位置するグリーンバンクについては、計画の概略が説明されているが詳細については説明されていない。その後の進捗状況は。

質問 運用方法について、樹木を引き取り必要に応じて搬出すると説明だが、どの程度の利用を想定しているのか。また、搬出入時の職員対応は。

都市計画課長 町の考えるグリーンバンク設置の趣旨としては、新築等や生活スタイルの変化により、樹木を引き取る場所の確保と取得希望者への斡旋など、緑の保護体制づくりです。進捗状況としては、全体的な利用計画を検討してから整備に入りたいと考えます。まずは、第三工業団地内の整備後に行いたいと考えています。

都市計画課長 どの程度の搬入が見込めるかは想定をしていません。今後の計画策定の検討材料の一つとしたいと思います。搬入方法については、町民の方に費用は負担していただく形で考えています。また、搬入時に職員が立ち会うのかについては、今後の検討材料としたいと思います。



グリーンバンク予定地

今の財政状況では橋上駅舎建設を

遅らせるか中止を

計画どおり実施／都市計画課長

質問 川俣駅前開発費用は約25億円。橋上駅舎建設は、議員や町民にも賛否両論がある。本町は平成22年度一般会計でも、板倉町よりも1億2000万円強の借金が多い。税収はピーク時の半分で、福祉や道路整備費などの予算が大幅に縮減。柏市の高柳駅は、川俣駅の約5倍の利用者だが、橋上駅舎建設は財政状況から、市の全額負担は受け入れられず、当面は自由通路の建設にした。①橋上駅舎建設の着手を遅らせるか中止を。②当初の整備計画書は、乗降人員が川俣駅と同等の橋上駅舎と3駅が紹介されたが、

2駅は間違いで、川俣駅の3倍。もう1駅は千人多い。私の指摘で訂正されたが、関係者等にとどのように説明したか。③東武鉄道の負担は、基本設計の時点で明確に。④建設費並みの維持管理費が見込まれると答弁したが、管理費は。⑤財政状況が悪化し、町民サービスが大きく低下したときは、町長は責任をとるのか。

施設設計が完了した後、協定で決定。全額町の負担でなく、バリアフリーの費用は東武鉄道に負担をと協議しています。④実施設計後でないと算定できません。駅舎の維持管理費は東武鉄道の負担です。

都市計画課長 ①鉄道利用者の利便性を高めるため計画どおりします。②冊子の記述誤りの指摘を受け、文書・口頭で関係者に説明しました。③今年度の実



川俣駅

岡安 敏雄 議員

国道122号バイパス計画における横断道、農地などの形状変形対策について

残地の集積化に努力したい／経済建設課長

質問 高規格道路路がで
きるが横断道や農地の
変形が心配されている。
今まで確保されていた
農業基盤が半端な形状
になって残されてしま
うのではないかと不安
がある。町は集約化
や土地利用方など考
えているのか。また、横
断箇所が少なく子ども
や高齢者、農業機械な
どが迂回することにな
るようだが、立体的な
交差など確保するよう
住民の声を県や国土交
通省に交渉しているの
か。また、横断可能な
場所が200メートル

置きぐらになるよう
に強く要望できないか。
経済建設課長 県では
道路用地以外は買収し
ない方針のもと進めて
いますので、小さな面
積や不整形の土地が
残ってしまいます。沿
道に耕作放棄地ができ
ることは景観上も好ま
しくないのですが、残地の
集積化に向けて地権者、
農業委員の協力を得な
がら対応していきたい
と考えています。交差
点以外は中央分離帯が
設置され、道路横断の
できる箇所は交差点に

限られます。現計画で
は信号機付き交差点は
5ヶ所予定されており、
間隔は600メートル
から700メートルとな
っています。

場所が200メートル

設置され、道路横断の
できる箇所は交差点に



整備される国道122号線

こんな質問もありました

・国道122号川俣、大佐貫、矢島地内の交差点に右折信号設置を

川島 吉男 議員

明和町の知名度アップ施策について

着ぐるみを使った活性化を検討する／町長

質問 「ゆるキャラグ
ランプリ2012」で、
ぐんまちゃんが第3位
になり、群馬県の知名
度アップに貢献しまし
た。明和町にはイメー
ジキャラクター「メイ
ちゃん」がありま
す。「メイちゃん」の
着ぐるみを活用するこ
とで、関連グッズ販売
や地元産業との連携で、
町の活性化と経済効果
が見込まれます。そこ
で「メイちゃん」の着
ぐるみを作製し、ゆる
キャラグランプリや各
行事に参加するなど、
明和町の知名度アップ
に活用する考えがあ
るか。

町長 明和町では平成
21年度にオリジナル
キャラクターの募集を
行い、町の花である菊
を手にし、元気に未来
へ躍進するさまが描か
れた「メイちゃん」を
町のキャラクターとし
ました。その際に着ぐる
みの作製について検
討しましたが、費用対

効果が未知数であるた
め、作製を見合わせた
経過があります。しか
し、最近ゆるキャラが
全国的にブームとなっ
ていますので、着ぐる
みを作製した知名度
アップも再検討したい
と思います。



町のキャラクター「メイちゃん」

東部地区開発の推進について

地域の皆さんと一緒に検討／副町長

質問 明和町の開発は、西部地区においては凸版印刷(株)の進出でさらなる発展が見込まれるが、東部地区においては今まで同様、農業を中心とした施策にとどまっている。平成22年12月の定例会でも同様の質問がされているが、第5次総合計画の見直しの時期を迎え、東部地区の特性を活かした施策を今後どのようにするか、町の考えは。

まれることから、東・中・西の地域にとらわれず、町全体のグレイドアップにつながると思われます。

東部地区の施策については、今後、地域発展と町の活性化につながるよう地域の特性を十分に加味し、かつ地域の皆さんの意見を伺いながら一緒に検討をし、平成27年度を初年度とする次期の総合計画及び都市計画マスタープランの策定作業を行いたいと思います。

副町長 凸版印刷(株)の進出により、町全体が活性化される相乗効果、また川俣駅周辺整備を実施することにより町全体の利便性の向上など、一層の向上が見込



東部地区(斗合田)

情報モラル教育について

平成24年度内には 実態調査を始める／教育長

質問 インターネットの普及により、パソコン・スマートフォン・ゲーム機等から、子どもたちが簡単にインターネットにつながる環境にあり、ネット犯罪の被害者や加害者になるケースが増加している。今後インターネットを使用せざるを得ない社会で、子どもたちに情報モラル教育が必要と考えるが、町の方針は。

ターネット利用の実態調査を実施し、ネットいじめやトラブル等、児童生徒や保護者の実態を把握したいと考えます。二つ目は、教職員研修の充実と学校における情報モラル教育の徹底を図ります。三つ目は、有害情報に関する保護者への啓発活動を推進し、児童生徒が使用する携帯電話等はフィルタリング(利用制限)が100%利用されるよう努めます。まずは、実態調査を年度内に実施し、子どもたちの現状を認識し、指導していきたいと考えます。

教育長 明和町では発達段階に応じて情報モラルの大切さを指導していますが、今後、次の方針で情報モラル教育を推進したいと考えます。一つ目は、イン



栗原 孝夫 議員

ナシと施設キュウリの被害軽減対策について

農業関係団体との連携により

被害の軽減を／経済建設課長

質問 今年、暑さと乾燥のために特産物のナシにダニが異常発生してかなりの被害が出ました。また、施設キュウリにも黄化えそ病が大発生しました。ミナミキイロアザミウマという害虫によるもので、効果的な農薬が少ないために年々被害が拡大しています。行政で後押しし、少しでも被害の軽減が出来るものか。

め、果樹共済を推進して行く考えです。キュウリ黄化えそ病ですが、例年になく多量に発生し、被害が増加しています。今のところは明確な処方箋はありません。町は金銭的補助というよりも、県農業者事務所やJA及び生産者などが相互に連携を図りながら被害軽減に努めています。また、施設キュウリにも黄化えそ病が大発生しました。ミナミキイロアザミウマという害虫によるもので、効果的な農薬が少ないために年々被害が拡大しています。行政で後押しし、少しでも被害の軽減が出来るものか。

経済建設課長 町のナシ産地構造改革協議会で、今年の教訓をもとにハダニ類の対策について講習会を行いました。知識の共有化により防除対策の強化に努

め、果樹共済を推進して行く考えです。キュウリ黄化えそ病ですが、例年になく多量に発生し、被害が増加しています。今のところは明確な処方箋はありません。町は金銭的補助というよりも、県農業者事務所やJA及び生産者などが相互に連携を図りながら被害軽減に努めています。



アザミウマ対策の土壌消毒

田口 晴美 議員

第5次明和町総合計画による

まちづくりの成果について

達成度は94・2%／町長

質問 平成17年度にスタートしたまちづくりの指針となる第5次明和町総合計画は、平成26年度までのものを前の町長から継承し7年が経過した。6つの章から成るまちづくり基本計画において、達成度などの程度自己評価しているのか。

平成17年度にスタートしたまちづくりの指針となる第5次明和町総合計画は、平成26年度までのものを前の町長から継承し7年が経過した。6つの章から成るまちづくり基本計画において、達成度などの程度自己評価しているのか。

■まちの地域資源（まちの宝）



※新めいわ創造プラン策定懇談会のワークショップより

町長 総合計画の達成度は94・2%でありおむね満足しています。評価するかが一番重要だと思います。また、やり残した大きなプロジェクトは、許されるものならもう一度挑戦

企画財政課長 第5次明和町総合計画の進捗状況は、120施策あるうち、少子化対策やごみ処理適正化など46施策、地場産農産物の振興など67施策、合わせて113施策が順調に進捗しています。一方厳しい財政状況から農業集落排水事業の推

進など7施策が計画より遅れています。して完成させていきたいと思います。

常任委員会所管事務調査報告

二つの常任委員会は、各委員と事務局出席のもと、所管に関わる事務調査を実施しました。調査の内容は、各担当課長から平成24年度事業の進捗状況と平成25年度の事業概要について説明を受け、町内の施設及び事業の実施状況等を現地調査しました。

◆総務・産業常任委員会

◎委員長 ○副委員長
 ※◎委員長 ○副委員長
 ◎栗原孝夫 ○野本健治 斎藤一夫
 富塚基輔 田口晴美 岡安敏雄

期日

11月27日(火) / 12月6日(木)

現地調査箇所

- ・国道122号線に係わる買収用地【西小学校】(学校教育課)
- ・国道122号線に係わる買収用地【矢島消防詰所】(総務課)
- ・第三工業団地内公園用地(都市計画課)
- ・町道60号線工事現場(経済建設課)



西小学校



第三工業団地内公園

◆文教・厚生常任委員会

◎委員長 ○副委員長
 ※◎委員長 ○副委員長
 ◎堀口正敏 ○今成 隆 奥澤貞雄
 藺田 繁 川島吉男 関根慎市

期日

11月29日(木) / 12月6日(木)

現地調査箇所

- ・川俣地内歩道橋(学校教育課)
- ・下水道工事現場(環境水道課)
- ・社会福祉会館(住民福祉課・健康づくり課)
- ・保健センター(住民福祉課・健康づくり課)
- ・もったいない館(環境水道課)



矢島地内下水道工事



保健センター

全体視察

◇12月6日(木)
 凸版印刷(株)新群馬工場
 新設計画



◇12月11日(火)
 国道122号線利根川
 架橋工事



町村議会議員研修会

議員活動の重要性を再確認

町村議会議員研修会が10月24日に吉岡町文化センターで開催されました。この研修には、県内町村議員が約300名参加し、地方自治時代の議会の重要性について学びました。

最初は、山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭氏による「住民自治の向上と議会改革」と題し、住民自治の根幹としての議会を創造することについて、具体的な例をあげてわかりやすく解説していただきました。

続いて、群馬大学大学院工学研究科教授の片田敏孝氏による「想定を超える災害にどう備えるか」と題して、東日本大震災から学ぶ群馬県の災害特性と対策について、釜石市の実例をもとに、群馬県での災害の危険性や

防災教育など多岐にわたり講義いただきました。

今回の研修で議員活動の重要性を再確認できたので、今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。

町村議会議員研修会が10月24日に吉岡町文化センターで開催されました。この研修には、県内町村議員が約300名参加し、地方自治時代の議会の重要性について学びました。



市町村アカデミー開設25周年記念特別セミナー

地方分権を学ぶ

全国から約320名の首長及び議員が参加した「市町村アカデミー開設25周年記念特別セミナー」が11月8日、9日の日程で、千葉市にある市町村アカデミーで開催され、明和町議会も参加しました。

「これからの政治の行方」と題し朝日新聞オピニオン編集長の星浩氏の講演、「最近の分権論議に危惧すること」と題し第30次地方制度調査会長の西尾勝氏の講演、「国の出先機関改革と道州制をめぐる諸問題」と題し成蹊大学教授の小早川光郎氏の講演が行われました。その他、パネラーに佐賀県多久市長の横尾俊彦氏、北海道ニセコ町長の片山健也氏、関西学院大学教授の林宜嗣よしつぐ氏を迎え、「今後の広域行政と基礎自治体のあり方」をテーマとした公開討論が行われ、ガバナンスとマネージメント、広域行政との連携の在り方、透明性の必要性など具体的な例を挙げて分かりやすく説明をいた

「最近の分権論議に危惧すること」と題し第30次地方制度調査会長の西尾勝氏の講演、「国の出先機関改革と道州制をめぐる諸問題」と題し成蹊大学教授の小早川光郎氏の講演が行われました。その他、パネラーに佐賀県多久市長の横尾俊彦氏、北海道ニセコ町長の片山健也氏、関西学院大学教授の林宜嗣よしつぐ氏を迎え、「今後の広域行政と基礎自治体のあり方」をテーマとした公開討論が行われ、ガバナンスとマネージメント、広域行政との連携の在り方、透明性の必要性など具体的な例を挙げて分かりやすく説明をいた



いただきました。また、各パネラーの行政に対する強い意気込みに感動しました。

今回のセミナーで学んだことを町のために活かしていきたいと思えます。

議会全体研修

水道事業広域化の

効果を検証



議会全体研修として、平成24年11月20日から22日の2泊3日の日程で岩手県を訪問しました。

初日に訪問した岩手県は、北上市と花巻市、紫波町で構成され、奥羽山脈と北上高地に挟まれた北上川に沿って人口が集

積している、圏域人口約23万人の地域です。岩手中部広域水道企業団は平成3年4月に水道用水の供給を開始し21年目を迎えました。経営基盤や技

術基盤を強化し、水道利用者に安全で安心な水道水を安定的に供給し続けるために、構成市町の水道事業と平成26年度の事業統合に向けて準備を進めています。

2日目に訪問した岩手県大槌町は、東日本大震災で大きな被害のあった町です。大槌町の復興を望む人たちが集まり出来た一般社団法人「おらが大槌夢広場」が運営している「復興食堂」で昼食を兼ねた視察をしました。

店舗は全て手作りで、どうしても大槌の美味いもの食べてもらいたいという熱い思いの人たちが、真心を込めて料理を作っています。

減効果や安定供給について学びました。

昼食後は、地元ガイドによる震災現場と復興状況とその取り組みを案内していただきました。多くの人が大槌町を訪ねてくれることで地域の経済活性化に役立っていると感じ、

わづかですが復興支援に役に立てたと安堵しました。

今回の視察研修では、様々な視点で研修ができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。





藤野 舞さん
(千津井在住)

明和町民になって早いもので5年が経ちました。私は、伊勢崎市から嫁いで来ましたが、一番驚いたことは食べ物がとても美味しいことでした。

まず、お米ですが、スーパーマーケットで買ったお米を食べることがほとんどであった私にとって、明和町のお米の美味しさは格別でした。そして、野菜は味がしっかりあってそのものの濃い味を感じられて、桃、梨、巨峰といった果物のみずみずしさと甘さには感動させられました。

また、私の住んでいる千津井地区は、花卉園芸のハウスが沢山あり、私の家の目の前も園芸

明和町に
嫁いで

のハウスです。ハウスの中の様々な花を眺めることが出来たり、花が咲くまでの様子を楽しむことも出来ます。特に、シクラメンの時期は、ハウスの中が赤、白、ピンク、黄色などの華やかな色で染まり、まるで宝石箱のように、とても綺麗です。

それらというのも、明和町の水と豊かな土壌が良いからだ、と、夫が話してくれました。そして、私の実家の両親に明和産の農作物を持っていくと大変喜ばれます。そこでは、「生まれながら、ずっとこんなに美味しい物を食べて育ってきた町民の方は幸せだよ」と話しています。そして、私も自分の3人の娘にも安心して美味しい物を食べさせることが出来て、本当にうれしく思っています。これから、明和町の農業のさらなる発展と明和町のこのすばらしい自然環境に期待しています。

議会日誌

10月

- 3日 広報委員会
- 5日 全員協議会
- 6日 町総合福祉スポーツ大会
- 14日 町民体育祭
- 16日 一組事務組合定例議会
- 23日 全員協議会
- 〃 総務・産業常任委員会
- 〃 文教・厚生常任委員会
- 〃 広報委員会
- 24日 群馬県町村議会議長会主催議員研修会
- 26日 邑楽郡町村議会議長会スポーツ大会

11月

- 1日 教育の日記念式典
- 〃 総務・産業常任委員会
- 2日 町戦没者追悼式
- 6日 文教・厚生常任委員会
- 8日 市町村アカデミー特別セミナー(9日まで)
- 14日 第56回町村議会議長全国大会
- 19日 総務・産業常任委員会
- 〃 全員協議会
- 20日 議会全体研修(22日まで) 岩手県
- 27日 総務・産業常任委員会所管事務調査
- 29日 文教・厚生常任委員会所管事務調査
- 30日 議会運営委員会

12月

- 6日 第4回議定会(11日まで)
- 〃 全員協議会
- 11日 全員協議会
- 20日 文教・厚生常任委員会
- 25日 全員協議会
- 26日 広報委員会

議会の生の声を
聴いてみませんか?

次回定例会

3月7日(木)から
午前9時～
3月15日(金)まで
(一般質問)

予定です

詳しくは議会事務局へ
TEL 84-3111

みなさんの傍聴を
お待ちしております

広報委員会

- 委員長 富塚基輔
- 副委員長 斎藤一夫
- 委員 奥澤貞雄
- 委員 蘭田 繁

- 田口晴美
- 川島吉男

編集後記

年4回の発行に際し、限られた紙面の中で定例会の審議結果をお知らせしていますが、町政に興味がない人には読んでもらえない不安を感じます。表紙をカラーにして読んでみたいと思っております。町が行政を進めるためには、一定の決まりのもと議員の過半数の賛成を得なければなりません。町を舟にたとえれば、議会は船頭です。目的地に向かうのに途中船頭に進路を委ねます。町が進む先を丁寧に案内する船頭役です。町の進路に対して町民の多勢が望む方向に進めていくことが重要な役割と考えています。一般質問が毎号とも紙面の大半を占めていますが、町政のいろいろな問題を町長などの執行機関に質問し、町長の考え方や町政をどのように運営しているのかを町に確認することができます。唯一の公の場です。この様子を知るためにもこれから是非ご覧になってください。

田口委員記